

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 104

政策体系	32	事業分類	施設管理費	所管部局	日吉支所 地域総務課
会計	一般会計	科目	2. 総務費 - 1. 総務管 - 10. 交通対 現年		
事業名	駅関連施設管理運営費				
細事業名	胡麻コミュニティセンター管理運営費				
評価表作成者				日吉支所 地域総務課	平田 聖治

1. 事業の概要

指定管理者の管理運営により、コミュニティスペースを活用し、喫茶コーナー、物販コーナー、展示コーナーを開設し、多くの利用がある。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

- ・ 胡麻駅コミュニティセンター
地域住民の交流推進と福祉の増進を図るため。
- ・ 胡麻駅前広場
公衆の利便に供するため。
- ・ 胡麻駅前駐車場
胡麻駅と同駅前商店街の利用者の増加と利便性の向上を図るため。

② 事業を実施する必要性

- ・ 胡麻駅コミュニティセンター
京都市等への通勤通学者や観光客などのJR利用者及び地域住民の利便性向上を図るため本駅を維持し、あわせてNPO法人の活動の場を提供し、地域活性に寄与するものです。
- ・ 胡麻駅前駐車場
日吉町内からの駅利用者（主に通勤等）の増加と利便性の向上を図るため駐車場の設置を行うものです。

3. 事業費の推移

	単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額	千円	7,601	4,057	4,040	3,761	3,985	3,985	3,985
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源	使用料・手数料等	千円	1,458	1,422	1,347	1,321	1,246	1,246
内訳	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	6,143	2,634	2,694	2,440	2,739	2,739
職員等の従事人員	人/年	—	0.34	0.12	0.15			
人件費	千円	—	2,204	851	1,278			
事業費総額	千円	—	6,261	4,892	5,038			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

胡麻コミュニティセンター電気料金	1,430,205円（光熱水費）
胡麻コミュニティセンター指定管理料	1,000,000円（委託料）
胡麻郵便局設置敷借上料	746,100円（使用料及び賃借料）

5. 事業結果の概要

施設の照明等に係る年間の電気代
胡麻コミュニティセンターの指定管理の協定を締結し、施設の管理運営を委託した。
郵便局の敷地を西日本旅客鉄道株式会社から借り受け、郵便局用に貸付した。

6. 活動の詳細

イベント		
胡麻駅開業100周年記念事業「さくら記念植樹」	平成22年11月14日	さくら植樹記念セレモニー 主催：NPO法人胡麻地域振興会
日吉駅（旧殿田駅）、胡麻駅開業100周年記念事業	平成22年8月14日	オープニングセレモニー ミニ電車乗車体験 ペーパークラフト 電車の模型作り 主催：胡麻駅開業100周年記念事業実行委員会
駅前広場において【雄魔の夏2010】の祭りを開催	平成22年8月14日	主催：胡麻夏まつり実行委員会 後援：NPO法人胡麻地域振興会 参加者 300人
駅利用		
胡麻駅の通勤通学者等による用	年間	平成22年度1日当たり乗車人員 364人（降車記悪含まず）
指定管理		
胡麻コミュニティセンター内の多目的ホール等を師弟管理制度により管理を委任し、主に日吉町に関する物産の販売、飲食の提供が行われた。毎週土曜日には地元胡麻の農産物販売が行われた。	年間	指定管理：NPO法人胡麻地域振興会 年間利用者 不明
駐車場		
駐車場を年間契約等により貸し出した。	年間	利用者 年間契約 24人 一時利用 196人 稼働率 82%
敷地賃貸		
株式会社京都銀行のATM設置を許可した。	年間	年間利用者 （株）京都銀行 一日平均 100人
郵便局の敷地をJRより借り受け芦田昌徳様に貸し、郵便局用に提供した。	年間	年間利用者 不明

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

指定管理者による特産物の販売等により、単なる駅施設だけでなく、地域の活性化に寄与している。西日本旅客鉄道株式会社から借り受けの胡麻コミュニティセンターの敷地料については、協議により平成22年度においては、平成21年度の半額となった。平成23年度以降については、平成22年度と同様である。
また、コミュニティセンターだけでなく、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

指定管理者による特産物の販売等により、単なる駅施設だけでなく、地域の活性化に寄与している。コミュニティセンターだけでなく、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。

■平成21年度の所属長評価

- ①事業執行に当たり、議論を重ねた点
どうすればよりいっそうの利便性の向上が図れるかを議論した。
- ②当該事業のアピール事項
指定管理者による特産物の販売等により、単なる駅施設だけでなく、地域の活性化に寄与している。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
コミュニティセンターだけでなく、他施設との一体的な指定管理制度の導入を検討する。